

仕 様 書

- 1 件 名 「眠り展：アートと生きること ゴヤ、ルーベンスから塩田千春まで」 会場設営業務 一式
- 2 場 所 東京都千代田区北の丸公園3-1 東京国立近代美術館本館
- 3 作業期間
第1期 室内工作物等作業
令和2年10月26日（月）～令和2年11月20日（金）
*11月16日（月）～20日（金）は展示作業。グラフィックおよび照明の作業はこの間に行う。
第2期 撤収・復旧作業
令和3年2月24日（水）～令和3年3月5日（金）
作業時間は各日午前9時30分から午後6時までとする（土日祝日含む）。
- 4 工作物等の概要
設置数、規格については、「工作物詳細事項表」、「図面」（設計：トラフ建築設計事務所）及び「添付資料（1）～（3）」を参照すること。
 - （1） 仮設壁， 仮設壁パネル
 - （2） 新規仮設壁の一部は小口を半円形にすること
 - （3） クロス業務
 - （4） 壁埋め込み式のアクリルケースの設置。照明の埋め込み作業にかかる配線も含む
 - （5） 展示室内意匠（カーテンおよび出力シート，パンチカーペット）の設営
 - （6） クレート置き場の造作
 - （7） 会場出口ロビー仮設壁
 - （8） テレビモニター，スクリーン（DVDおよびパソコン制御）の造作，設置と配線
 - （9） 結界テープ，パーテーションの設置
 - （10） サイン関係（エントランスサイン，入口タイトル，あいさつ，章解説，キャプションなど）
 - （11） 料金表示板
 - （12） 照明
- 5 復旧作業
展覧会終了後、請負業者（以下「乙」と表記）は1階展示室の全てにおいて現状復帰すること。なお、ガラスケース内のすきま等に塵芥が残存しないよう、入念に養生すること。
- 6 その他
乙は会場設営に際して次の事項について、厳守すること。
 - （1） 業務に必要な図面等は乙において作製し、本仕様に従うこと。これと異なる提案はすべて入札前に必ず東京国立近代美術館（以下「甲」と表記）の担当者に諮り、その指示に従うこと。
 - （2） 乙は、美術館で催された展示室面積1,200㎡以上の美術展覧会について、過去5年以内に責任者として業務経験（二館以上）がある者を展示工作作業監督者（責任者）として指名し、作業期間中は作業場所に常駐させること。
 - （3） 乙は、図面、業務スケジュール、各日の作業員数を事前に甲に提出し、了解を得ること。
 - （4） 作業期間中は、館内で甲の許可なく火気の使用を禁止する。
 - （5） 業務にあたっては、乙は展示室の床、壁、天井その他を破損、汚損しないよう、十分な養生計画をたて、事前に甲の了解を得ること。万一、破損、汚損があった場合は、甲の担当者の指示の下、乙の責任で現状復帰すること。
 - （6） 甲が検査を行う時は、乙は当該検査に立ち会い、不備な箇所は直ちに手直しを行うこと。
 - （7） 業務に従事する作業員はすべて、本業務と同等の施工に関して十分な経験を持つものであること。
 - （8） 業務に必要な機械、工具及び資材等は全て乙が持参し、搬入すること。機械・工具等の使用に際し、必要な電気の供給は甲の負担とする。
 - （9） 不測の事態に備え、対応可能な資材を用意しておくこと。
 - （10） 作業により発生した残材等の不要品は、乙の責任において搬出し、処理すること。

- (11) 作業終了後は、後片付け及び清掃を行うこと。
- (12) その他不明な点は、甲の担当者の指示によるものとする。

工作物詳細事項表(眠り展)

大前提として、添付のトラフ建築設計事務所の作成した図面を参照すること。

木工関係

項目	規格・指示事項
仮設壁施工	貴重な美術品を展示するに足る十分な強度、安全性をもつものであり、かつ、強く押しても堅固な不動性を保つように筋交いを含めた入念な補強をすること。各パネルはもちろん、施工壁が全体的に平板性を保つこと。筋交いの垂木は29mm×35.5mm以上の太さであること。仮設壁内部構造については添付資料(1)を参照(添付資料(1)に書かれている寸法などは今回の造作物のためのものではないため、あくまで基本構造の参考として参照すること。)。既存の床、壁などを傷つけないよう、養生をすること。
仮設壁パネル	垂木・骨:29mm×35.5mm, ラワンベニヤ5.5mm, フォスター(防災処理)。貼り合せは不可。汚損、破損のあるものは不可。高さは場所によって違いあり。トラフ作成の図面を参照のこと。
仮設壁の中木	巾木なし。既存の仮設壁の仕様に合わせる。壁が床面から約25mmほど地面から浮いているように見える仕様。約20mmの奥行きを持ち、その奥で壁は床面に設置している。
既存の仮設壁のクリーニング	ドイツ展の既存壁をそのまま流用する箇所については、清掃・補修を施すこと。塗装、パテ塗では修復が難しい壁面については、経師のし直しも検討すること。
クロス工事(仮設壁)	パネルジョイント、パテ処理GL・仕上げパテ。パテ作業時には床に養生シートを貼ること。ビニールクロス((LB9709)と同等品)による経師、全面糊付。色は後日指定する。森村作品を展示する暗室の一部、および章解説を貼る壁面では、そのうえに出力シートを貼付する箇所がある。
展示ケース	仮設壁ないし既存の仮設壁に埋め込み式のミュージアムガラスによるショーケースを造作すること。添付資料(2)における造作を参考とすること(添付資料(2)に書かれている寸法などは今回の造作物のためのものではないため、あくまで基本構造の参考として参照すること。)。内部に埋め込むライン型の間接照明はLEDで、高演色性(Ra95以上)であること。作品に均質に照明が当たり、かつ作品に対する照度は100Lux以下。
カーテンの設置	カーテンレールの仕様もしくはタッカーでの打ち付け作業については、トラフ作成の図面を参照すること。カーテンは当館が調達したものを支給する。職員の出入口2カ所は、常時開閉できる仕様とすること。当館が指定する展示室内意匠の監修担当者の指示に従い、カーテンの吊り下げを行うこと。天上高さ切り替えラインにはシャッターがある。そのため、カーテンおよび吊元は、シャッターの開閉の障害にならないよう設営すること。
クレート置き場(1か所)	壁の内側にクレートを収納したのち、目立たないようにはめ殺しで壁を閉じる加工を行うこと。場所は仕様書を参照。なおクレート置き場用の開口部の外壁には強く押しても堅固な不動性が担保できるよう、筋交いを含めた入念な補強をすること。
会場出口ロビー仮設壁(1か所)	場所及び開口部、高さの寸法はトラフ作成の図面を参照。
パンチカーペット	床面にパンチカーペットを敷く箇所がある(1か所)
スクリーンの造作	映像作品を投影する用のスクリーンパネルを造作すること。2か所。計4枚

グラフィック関係

項目	規格・指示事項
会場入口タイトル	<p>展覧会タイトルは、カッティングシートによる切り文字。色は後日指定する。タイトルのグラフィックはアクリル切り文字(t=10mm)。いずれも石壁に接着。色は後日指定。撤去時、跡が残ることなく剥がせるものを使用すること。</p>
あいさつパネル (和英中韓それぞれ1枚)	<p>4枚。データ作成、校正2回。弱粘性タック付塩ビ素材に出力 サイズ約w=700×h=1000mm(レイアウトの際に若干の調整) 約1200字 設置、撤去作業を含む</p>
章解説(和・英上下段一枚にレイアウト)	<p>7枚。データ作成、校正2回。出力シート貼り。サイズは場所ごとに異なる。トラフ作成の図面を参照のこと。約600字/250words。設置、撤去作業を含む。</p>
作品キャプション(大)	<p>49枚。データ作成、校正2回以上。弱粘性タック付塩ビ素材に出力 w=約200×h=150mmを基本とする。縦の長さは成り行き。印刷は1色(グレー)。形は添付資料(3)を参照のこと。タイトルのみ和英中韓、他の情報は和英。うち、約28枚は約300~400字/170~220wordsの作品解説が付く(和文)。設置、撤去作業を含む。</p>
作品キャプション(小)	<p>71枚。データ作成、校正2回以上。弱粘性タック付塩ビ素材に出力。w=150×h=50mmを基本とする。印刷は1色(グレー)。縦の長さは成り行き。形は添付資料(3)を参照のこと。タイトルのみ和英中韓、他の情報は和英。設置、撤去作業を含む</p>
音声ガイドパネル	<p>1枚。データは美術館から入稿、校正1回。スチレンボード w700xh1000mm 設置、撤去作業を含む</p>
注意事項	<p>5枚。データ作成、校正2回以上。再剥離タック付塩ビ素材に出力。A3サイズ程度。設置、撤去作業を含む</p>
料金表示板	<p>合成紙インクジェット出力、マツラミネート加工、スチレンボードt=7mm、裏もベタを貼る 本館用:h=287×w=890mm/貼り替えシート:h=80×w=350mm。設置、撤去作業を含む</p>

その他

項目	規格・指示事項
照明	照明技術者による調整
テレビモニターの設置および配線	ビデオ映像を映すテレビモニター、プロジェクター及びDVDデッキまたは制御するパソコンの設置・配線。5か所(このうち1か所は台座の上にモニター設置)。テレビモニター、プロジェクター、DVDデッキ、パソコンは原則として美術館の備品を使用する。電源及びコード延長が必要となる。延長コードは請負業者が用意すること。
結界	結界用テープ(カッティングシート50mm巾, グレー)の用意。場所によってはロープパーテーションを設置する。その撤去作業も含む。
清掃	施工後展示前1回および現状復帰後1回。ホコリ、木屑などの除去および施工作业によって生じた付着物の除去。
現状復帰	仮設壁撤去、釘穴等パテ埋め、基本壁塗り戻し(2度。壁を立てない部分についても含めて、会場全体が対象となる。)